

【表紙】

【提出書類】	臨時報告書
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	2022年5月13日
【会社名】	大幸薬品株式会社
【英訳名】	TAIKO PHARMACEUTICAL CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 柴田 高
【本店の所在の場所】	大阪府吹田市内本町三丁目34番14号 (同所は登記上の本店所在地で実際の業務は「最寄りの連絡場所」で行っております。)
【電話番号】	06-4391-1123
【事務連絡者氏名】	該当事項はありません。
【最寄りの連絡場所】	大阪府大阪市西区西本町一丁目4番1号 オリックス本町ビル16階
【電話番号】	06-4391-1123
【事務連絡者氏名】	執行役員経理部門担当 本間 豪
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1【提出理由】

当社及び当社グループの財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に著しい影響を与える事象が発生致しましたので、金融商品取引法第24条の5第4項並びに企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第12号及び第19号の規定に基づき、本臨時報告書を提出するものであります。

2【報告内容】

1．当該事象の発生年月日

2022年5月13日（取締役会決議日）

2．当該事象の内容

返金見込額の売上高控除

当社は本年4月15日において、当社の衛生管理製品の2品目に対し、消費者庁より景品表示法に基づく措置命令を受けました。これに伴い、当該商品には一定量の返品が見込まれ、その返金見込額を643百万円と見積もっております。このため、当該返金見込額を当第1四半期累計期間の売上高から控除して計上致しております。

棚卸資産評価損の計上

当社は前述の通り、本年4月15日において消費者庁より受けた措置命令により、衛生管理製品2品目の返品や店頭からの一時撤去による影響から、今後の売上高が低下することが見込まれます。前連結会計年度において、在庫水準の適正化のため大量の在庫処分を行ってまいりましたが、今後の売上高縮小の見通しから、在庫の回転期間がより長期化した結果、棚卸資産の評価を改めて見直すものとなりました。このため、当第1四半期累計期間において、棚卸資産評価損475百万円を売上原価に計上致しております。

3．当該事象の損益及び連結損益に与える影響額

当該事象により、2022年12月期第1四半期会計期間において、連結決算及び個別決算ともに、下記の通り売上高と売上原価に計上しております。

連結

売上高（控除）	643百万円
棚卸資産評価損（売上原価）	475百万円
個別	
売上高（控除）	643百万円
棚卸資産評価損（売上原価）	475百万円

以上